

■ ■ AutoCAD の操作の基本／はじめから ■ ■

[02] 用紙領域と作図領域

- 最終印刷時の「用紙サイズ」、「縮尺」、をきめてから作図します。
いきなり描きはじめると、想定外のトラブルの原因となります。
- 現在では、用紙サイズは、
「A0」、「A1」、「A2」、「A3」、「A4」版が図面用紙として使用されております。
- 手書きで図面を作成するときは、縮尺した値を三角スケールで読みとり描画しました。
- CADの場合は、用紙サイズに縮尺の分母の値を乗じて、用紙領域としmm単位で描画します。
「実寸で描く」ともいいます。
- 次は、作図領域です。
JIS製図総則によると、とじ代が必要な場合は、とじ代側は20mmが望ましいと記しています。
とじ代が不要な場合は、全辺とも10mmが必要となっています。
余白、マージンとも呼ばれております。（印刷されない部分です）
- 用紙領域枠線を「オフセット」して作図領域の枠線を描きます。

